

数値目標

指 標	令和3年度実績	令和8年度目標
1 男は男らしく、女は女らしくした方がよいという意見において「そう思わない」と答えた15～19歳の人の割合	58.8%	70.0%
2 男女共同参画研修会における受講後のアンケートで「人権問題や男女共同参画に対する理解は深まりましたか」の問いに「大変深まった」「まあまあ深まった」と答えた人の割合	95.3%	98.0%
3 社会全体でみた場合「男女が平等である」と答えた人の割合	15.6%	30.0%
4 男は仕事、女は家庭を中心にする方がよいという意見において「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」と答えた人の割合	74.8%	80.0%
5 ドメスティック・バイオレンスについて「内容まで知っている」人の割合	45.2%	60.0%
6 ドメスティック・バイオレンスの相談窓口の認知	28.6%	50.0%
7 リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて「内容まで知っている」人の割合	1.4%	10.0%
8 「生と性の思春期教室」における受講者の満足度	69.0%	85.0%
9 心と体の相談会の開催回数	59回(R2)	58回
10 特定健康診査の受診率(全体)	37.6%(R2)	60.0%
11 ハッピー・パートナー企業の登録社数	15社	24社
12 仕事の内容や待遇面で「女性は男性に比べ差別されている」という問いに「そのようなことはないと思う」と答えた人の割合	62.6%	70.0%
13 ワーク・ライフ・バランスという用語について、「内容まで知っている」と答えた人の割合	13.2%	20.0%
14 子育て支援センター年間利用件数	19,922人(R2)	25,200人
15 ファミリー・サポート・センター活動件数	157件(R2)	550件
16 市内の地域密着型サービス提供施設整備数	25	29
17 「現在の社会は、女性にとって働きやすい環境にあると思う」と答えた人の割合	9.4%	15.0%
18 農業における家族経営協定の締結数(累計)	75件	90件
19 中小企業大学校における女性の研修受講人数(累計)	15人(R2)	27人
20 市の各種審議会等における女性登用率	31.8%(R2)	40.0%
21 市の行政委員会における女性登用率	13.3%(R2)	30.0%
22 市の管理職(係長以上、ただし消防職・保育士を除く)に占める女性の割合	32.2%(R2)	35.0%
23 小・中学校のPTA会長と副会長に占める女性の割合	35.7%(R2)	50.0%
24 町内会長に占める女性の割合	10.6%(R2)	13.7%
25 消防団に占める女性団員の割合	3.2%	5.0%
26 五泉市防災会議における女性委員の割合	9.5%	15.0%
27 男女共同参画社会基本法について「内容まで知っている」人の割合	6.5%	20.0%
28 ごせん男女共同参画推進計画について「内容まで知っている」人の割合	1.2%	15.0%
29 市役所男性職員の育児休業取得率	11.1%(R2)	30.0%

本計画は、SDGsの理念のもと、  
～男女がともに「自分らしく」  
いきいきと元気に歩むまち～  
をめざし、様々な施策を推進  
します。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



ごせん男女共同参画推進計画 概要版  
(令和4年度～令和8年度)

令和4年3月発行

発行：五泉市 編集：五泉市企画政策課 男女共同参画係

〒959-1692 五泉市太田1094番地1 TEL(0250)43-3911 FAX(0250)42-5151 E-mai danjo@city.gosen.lg.jp

～男女がともに「自分らしく」いきいきと元気に歩むまちづくり～  
ごせん男女共同参画推進計画

令和4年度～令和8年度  
(2022年度～2026年度)



令和4年3月  
五泉市

『男女共同参画社会』ってなに？

「男性」と「女性」・・・それぞれ、体の特質は違うけれど、同じ人間です。男性、女性というくくりではなく、『一人の人間』として『自分らしく』生きることができ、互いに尊重し合い、支え合い、あらゆる分野に平等に参画し、その個性と能力を発揮できる社会をいいます。

将来は、こんな社会に！実現しよう、互いに参画しよう！

家庭では…

- 一人ひとりが、「家族」や「家庭」を大切にし、ともに家事、子育て、介護に携わり、喜びも責任も分かち合っています。
- 家族の支えあう姿の中から、「自分らしい生き方を選択できる力」を、子どもの頃から学んでいます。

学校等では…

- 一人ひとりの個性や能力を伸ばし、地域と社会を主体的に支える人間を育てています。
- 「男だから、女だから」ではなく「自分らしさ」を大切にしたい生き方が選択できるよう、自立心を育てています。

職場では…

- 性別によらずに、仕事上の対等なパートナーとして、その個性と能力が十分に発揮でき、評価され、誰もがいきいきと働くことができる職場環境が整っています。
- 男女ともに育児・介護休業制度を利用しながら、仕事とその他の活動の両立ができる労働環境が整い、心身ともにゆとりや充実感をもって働いています。

地域社会では…

- 男尊女卑や性別による固定的役割分担意識に基づく慣行が見直され、一人ひとりの考え方や行動が尊重されています。
- 誰もが対等に企画や方針決定に関わり、豊かで住み良い地域づくりに貢献しています。



# 「ごせん男女共同参画推進計画」なぜ必要なの？

「昔はこうでなかったのに・・・なぜ今こんなことが問題になるの？」とよく耳にするように、さまざまな社会問題が起きています。

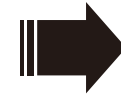
一見別々の問題のように見えますが、この根底には「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」という「社会的性別」(ジェンダー)に基づく固定的な役割分担意識が根強く残っていることにより、周囲からの期待に応えないといけないう無意識の重圧があるとされています。



例えば...



- ◆女性に強くのしかかる子育て、介護、家事負担の重圧
- ◆仕事ストレス・家計を担う男性への過重負担
- ◆女性が働き続けることが難しい社会
- ◆男性の生きがい・生活能力の欠如
- ◆対等な人間関係意識（コミュニケーション能力）の欠如 など



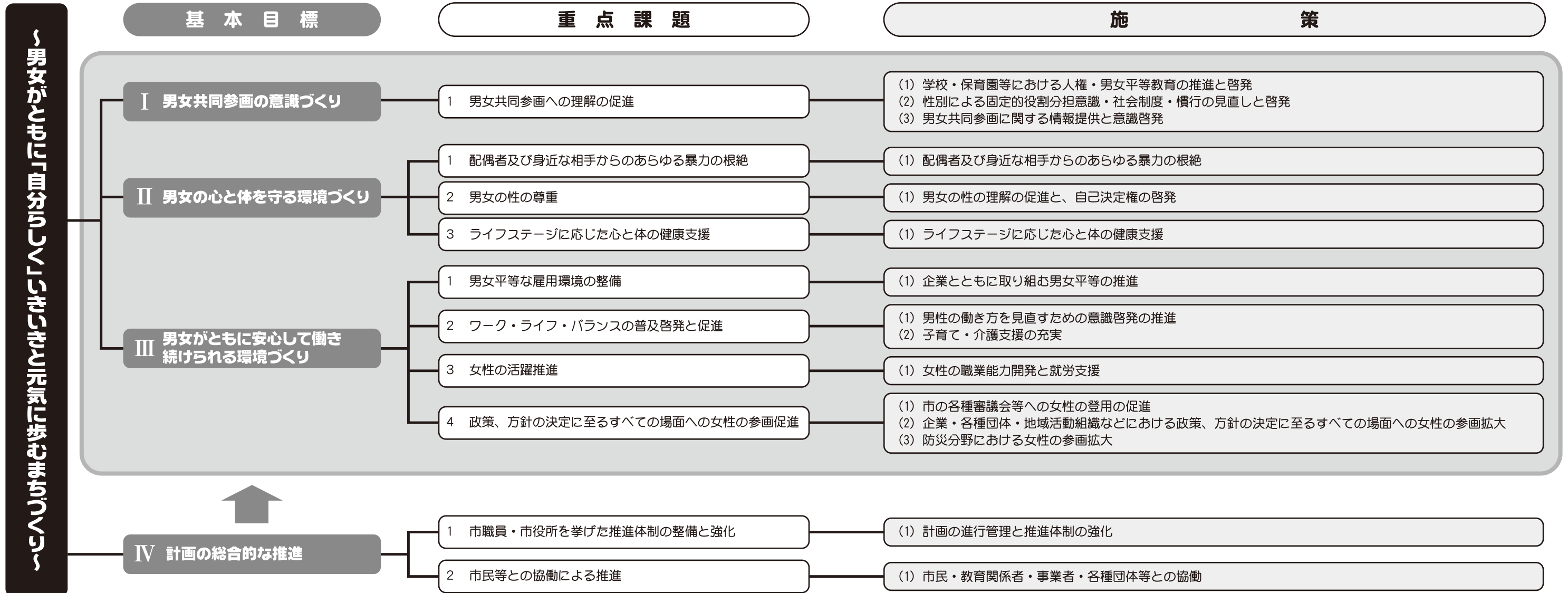
問題を解決するには...

家庭や学校、職場、地域などあらゆる場面において、男性も女性も性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現が望まれています。

これらのさまざまな課題を解決するため、男女がともに「自分らしく」いきいきと元気に歩むまちをめざして、「ごせん男女共同参画推進計画」(期間：令和4年度～令和8年度)を策定しました。

多様な生き方を自らが決定し、お互いの生き方を認め合うことで、市民一人ひとりがその個性と能力を生かせる「五泉市」をめざします。

# 誰が、何をどんな方法で取り組むの？



「ごせん男女共同参画推進計画」の推進体制